

ビワ生育情報

千葉県
平成22年5月号

平成22年4月の気象

平成22年4月の半旬別の気象は表1に示した。平均気温は第1半旬を除く全ての半旬で平年に比べ0.8~4.2 低く推移し、平年を大きく下回った。月平均気温は12.0 で、平年より1.9 、前年より2.3 低かった。3月下旬から引き続き、気温は低く推移した。

降水量は第2半旬を除く全ての半旬で平年を上回った。月合計は309mmで、平年より139mm(82%)、前年より164mm(113%)多かった。

日照時間は第6半旬を除く全ての半旬で平年を下回った。月合計は125時間で、平年より41時間(25%)、前年より184時間(40%)少なかった。

本年は平年に比べ曇雨天の日が著しく多かった。

表1 平成22年4月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	気 温()			降水量(mm)			日照時間(時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	12.5	11.7	11.0	98	26	12	11	25	27
2	11.6	13.2	14.1	7	28	0	25	27	48
3	11.9	13.6	16.4	59	27	26	14	27	40
4	10.2	14.1	15.0	60	35	0	17	28	25
5	10.9	15.1	15.3	54	34	108	25	29	20
6	14.8	15.6	13.8	32	21	1	33	30	50
平均/計	12.0	13.9	14.3	309	170	145	125	166	209

6月の作業(果実の発育は次ページ)

6月前半には梅雨に入り、曇雨天の日が多くなる。5月に引き続き収穫が行われ、「田中」でも6月下旬には終了する。夏肥は収穫後の樹勢をすみやかに回復させるために欠かせない作業であり、適期をのがさず施用する。また台木の播種は、梅雨明け前に発芽させるように、早めに行うことが肝要である。

収 穫

6月は露地ビワの収穫最盛期に当たる。市場において他の果実との競合が激しくなっているので、品質の良い完熟果を出荷して市場、消費者の信頼を得るように心がけたい。

夏肥の施用

夏肥は、夏枝の伸長と花芽分化を促すために施用するもので、収穫直前に施すのが効果的で、速効性肥料を用いる。施肥量は、耕土の浅い園で10a当たり成分量で窒素10kg、リ

ん酸 9 kg、加里 5 kg、耕土の深い園でそれぞれ 7 kg、8 kg、3 kg を施用する。

果実の発育

5月1日現在のビワの果径は表2に示した。横径は「楠」が2.51cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均で見るとそれぞれ2.71cm、2.39cmであった。本年の横径は3品種ともに平年より8～12%小さく、生育が良好だった前年と比較すると21～25%小さかった。

縦径は「楠」が2.55cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均で見るとそれぞれ2.78cm、2.59cmであった。本年の縦径は3品種ともに平年より8～18%小さく、生育が良好だった前年と比較すると20～31%小さかった。

果径指数は「楠」が0.98、「大房」及び「田中」は3地区の平均で見るとそれぞれ0.97、0.92で、「楠」は平年より高く、「大房」及び「田中」は平年と同程度であった。果形は「楠」が平年より丸い傾向であった。

3月中旬以降の天候不順により、5月時点の果実の発育は3品種ともに平年より遅れている。本年は平年に比べ、着花房率が著しく低く、寒害の被害は少なかったものの、着果量は少ない。更に小果傾向であるため、減収が予想される。また、病害虫ではクワゴマダラヒトリの発生が平年並で、果実の被害程度も平年並である。果樹カメムシ類は、越冬量が南房総市ほか県南地域で平年よりやや多く、今後の発生予察情報を参考にする。カメムシの発生の多い園では、ビワ園への飛来に注意を要する。

表2 果実の発育（5月1日の果径）

品 種	調査地	横径(cm)			縦径(cm)			果径指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	2.51	2.90	3.35	2.55	3.10	3.70	0.98	0.94	0.91
	青 木	2.77	3.05	3.33	2.88	3.12	3.36	0.96	0.98	0.99
大 房	南 無 谷	2.75	3.02	3.53	2.73	3.07	3.62	1.01	0.98	0.98
	暖地園研	2.60	2.74	3.40	2.74	2.85	3.55	0.95	0.96	0.96
	平 均	2.71	2.94	3.42	2.78	3.01	3.51	0.97	0.97	0.97
田 中	青 木	2.50	2.79	3.02	2.73	3.07	3.26	0.92	0.91	0.93
	南 無 谷	2.32	2.68	2.90	2.53	2.94	3.06	0.92	0.91	0.95
	暖地園研	2.36	2.62	3.10	2.51	2.84	3.41	0.94	0.92	0.91
	平 均	2.39	2.70	3.01	2.59	2.95	3.24	0.92	0.92	0.93

果径指数：横径 / 縦径

平年：1986年～2009年の24年間の平均

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>